週刊
磐城之實業
毎週日曜日發行
發行兼編輯人　大和田與兵衛
印刷人　大和田與兵衛
印刷所　大和印刷所
發行所　磐城之實業社　電話五五番
定價　一部金五錢（郵稅共）　半年分一圓廿錢　廣告料一行三十錢
但場所指定時十錢

第三區政界異變

濱三郡代議士選擧

風雲急を告げて解散になれば勿論のことだが、どうせ來年二月には總選擧となるので今から選擧運動に作なる技巧に腐心せねばならぬ代議士諸氏も又樂ではあるまい、民政の政治觀念の冷却した、そして政黨受難時代に政黨至上主義の議員候補も政黨と金、政黨人と金、絡んで解けぬ政治と金とこの疾患にも政事オーケーと勇敢に然もかかる重壓下に何の苦痛もなく安々と立候補される人物は誰が何と云つても

比佐昌平氏

のみであらうが彼氏現在の實力にして所謂濱地にあまんじ政黨の革新に政治の刷新に努力しつゝ四期の當選者、其の地盤たるや天下一品、民政黨にして且比佐家のファンによつて構成すること最も過ぎる程鞏固であらう、次に同派では

氏家清氏

が再び出馬するとの噂であるが然に依つて選擧費に四萬八千の巨額を投じて當選保持者との衝突を許すことは中部ではあるまいか、以上は民政黨の候補者であるが次ぎに政友會では相馬

松本孫右工門氏
大田秋之助氏

此の兩君の中より立候補することは大体に誤らざるところであらう松本氏は既に地盤ある人物にして大田氏に至つては二期の當選より進まんとするもので現金に五六萬の散捨は苦もなくやりとげるとの噂高さは見せられるとふ之に對し石城より

佐藤庄太郎氏
鈴木辰三郎氏

再び豪腕的なる立候補を相爭ふべく其の結果は或は漁夫の利を見せないとも限らないが兩者果して倒れが勝つかは次號に大衆の批評を擔げることにしよう

再び縣議戰の展望

能代町の石城郡今秋縣議に於て政友會より出馬する筈の鈴木辰三郎氏家清氏の後援會は本月より愈本格的活動を開始すべく準備の進捗を計るに至つたが第一番として從來の縣議會議員の月報を活版刷に改め、書記兼總務主任として當本愚三郎氏を採用せしめ一月一日を以て第一號を發行したが内容の充實は形式に漏れた感はあるが兩者の擔當に依て來ればこそ石城の所謂御用紙に對する反對の聲も含まれ居ないとも限らず妙な告などまりせぬ態度に於て堂々出してる點など反對に縣議會位の記事は東京統監の地方觀では東京のみで地方統監では時報であるが他の新聞は縣議の動静に依つて排斥し、利害に左右されて擁護する點でもあるまいから不偏不黨獨立自由の論陣を張む

平商工會の躍進振り

平商工會は本年より愈本格的活動を開始するのである

斷線十八番の東部電力

此の利益勘定を見よ

前期から今期に掛けて收支勘定の好調嚴密なる東部電力株式會社は電燈インフレに基く石城地方の工業地帶の發展を基礎に動力設備の使用増加は約一ヶ月十萬七八千燭に及ぶもので此處に素晴らしい成績の向上を示してゐる、動力收入たる電燈料及び動力料に就いて見ると次の如きものとなる

	前期	前年同期
電燈	増收額 一〇、五三四圓	三八、三四圓
步合	増收額 一八、〇八四圓	一分三毛
電力	増收額 二、〇三四圓	一五、四四四圓
步合	二割九分七毛	二割分

電燈料も僅少ら増加してゐる其の供給區域が農村も多分にあるに係らず此の成績は二ヶ月九ヶ三ヶ月に及ぶ點者に對しては隔然たる差額を附なしの缺點に出ずるからと見られないものでもない而し逸電費、配電費の約一千三百萬圓は其の多くを擧ろ建設的方面に支出

ゴシップ

平町會議員中に『ナレバ團ノ』と云ふ者があるとの噂が專らである然し我々は信じたくない、金になれば御免被になればオタテられゝば等々これでは困つたことだ、金で釣り、權力で押、利益でだまされても結局ナレバよいとの不徹底に至つては沙汰の限りである、議員と云ふ肩書には實々と賜られ

知◇人◇消◇息

拜啓初春の候貴下益々御健勝御奉賀候、却說御設行の貴社毎々ながら率直明快記事亦明察殊に貴ドの圓熟なる筆勢には智慧敬服再讀いたし居り候且は鄉土の動靜居ながらにして觀知され候た懷柔の情にたへず候先は御禮にて右御禮まで如斯に候

東京市目黒區上目黒　勿來生

×　×　×

拜啓盛夏の折柄益々御健祥御業務御勵眞御昌運の段奉慶祝候四篤ら御申越候に二十星霜に近く爾來世の辛酸と闘ひつゝ遂御疏遠にのみ打過候處計り致し候不悪御了承可被下候然し平方面の消知の來訪に接し御近況も承り益々御活躍の事も傳承勿論かに御祝福の事に候老生齢還暦に達し今尚稼々たるもの恥た壯健の至り候御憫笑可被下候毎度御心に掛けさせられ望外の賀柬御恵贈被下深謝の至りに候以御蔭平方面のニュースを承り得候事を喜致申候上京の節序も候簡御立寄り被下度取敢御挨拶のみ申上候先は不一御健康を祈候

東京本所區龜澤町一丁目五番地
硝子壜製造販賣柴田商店
柴田秀三郎
電話業田（七四）五二一番

例證を擧げて三萬町民に訴ふ

◇平町政自治權今や崩壞に瀕す◇

市政施行を急ぎつゝ其の公員さいも出來て大いに表面の陣容を誇る大平市建設に頭目なき町會議員諸君の中で自己打算利益派一部議者の走狗となつて情實に跳躍し町政を亂しつゝある不徳議員があるに至つては憤慨し慨嘆せざるを得ない、過去一ヶ年間の實情に照らして所謂色川製材問題を檢討して見れば常に彼等の策動する一端の醜惡さの暴狀を見ることが出來るのである、昭和八年十二月平町に訴ふと題する約三萬字に及ぶハンフレツトが飛び出しこが町會の問題ともなつて議員間の情弊が遺憾なく暴露したのである政友派の何とかと云ふ議員の如きは公安を害するからと云ふ題目下に論議大いに努めた見上た男である、火力の工場が惡いと云ふ譯で其の文に曰く

色川氏の火力製材工場經營からして千圓に對し九圓の保險料が十一圓となるとか其の理由としては見よ知らざる間に忽然と現出したる不可思議なる蜃氣樓の如き大煙突、其の煙が諸君の家庭に見ふ時困るは諸君の家庭にして、獨り幸するは色川氏のみ、愈々火力工場運轉して全氏の庭前に木材の山積する時、增加せらるゝは諸君の火災保險料のみ云々

然し事實は滿一ヶ年を經過したが更に保險料の値上げもなく氏の煙突より時に白煙の立のぼること一般錢湯屋の煙突のと何等選ぶ處がないではないか、之でも平町百年の禍根であるのか、個人の大工場でも關係者千人以上の生活を保證してゐるに鑑みても大なる利益を平町に提供してゐるではないか

あまり具體化もせぬ鐘紡の分工設置運動に懸命する聰明なる町議諸君は何故に個人事業とあれば反對するのか、思へば此處に一大汚點を發見されずにはおかないものがある、町會議員諸君を向ふに廻して彼等の秕政惡習を公表して彈劾の擧に出でたい、洗ふ所迄洗つて根本的に革新を叫ばざるを得ない、此儘にして置けば平町政は機能組織の行詰まりであり、代議制度の滅行く姿だ、此有がまゝのすがたに對し御互に喚起して個に三萬町民の機能組織を淨化せしむることに大なる躊躇を要する

無斷取引中止に憤慨

損害金二萬圓訴訟

磐城通信社が滿三箇年に亘つて約四千三百の讀者を獲得した新聞の經營權に對し今回小野務平氏は損害金約二萬圓の訴訟を提起したるやに仄聞するが其の概要は一昨年十二月小野氏が下獄したる其の翌三日間に突然無警告で取引を中止し他に事務所を設置し購讀者四千三百に對し勝手に購讀の變更をなせしを憤慨し裁判に及んで精算方を折衝したるも圓滿解決の見込なしとして此の擧に出でたものと思惟されるが内容は次號に詳報することゝしよう

農村振興の實行策

江尻中

序説

他の中には理論家もあり空論家もある調子家もあれば説明家もある仕事もあれば農村事情の寄生虫さいもある今の世殊に農村に最も必要な人間は此等階級の人々では斷じてなく信念と確信とを有する實行家である

彼等は生活を農村に受け少時より農村の研究に沒頭し農村問題に就ては余人より一日の長あることを吹聽するも決して潛越にあらざることを自信するものである

近年農村の實しき生活も懸々悲慘なる狀態と化し田園の荒廢は幾何級數的の高速度を以て進み生活難の暗影は刻一刻と深く農村を掩ふて行きつゝある

予は此農村困憊の現狀に直面しつゝ農村經營は寸時も頭の中を離れぬ矢張り中風病に罹つて病床に呻吟しつゝあるも農村更生の實際策に就ては有ゆる參考書をしもとき又入るを計つて出づるを防ぐ經濟學の原則に基き自己の宅地改良經營より始むべく着々實行しつゝあるのである

今回大和田兄より農村振興に關する愚見を需められ一氣可成的に書いたのが即ち此農村振興の實行策である

容齋到つて鈍く論旨又不徹底かも知れぬが其れを江湖に問ふ餘に間違であるかも知れぬ何卒諸彦諸君の叱正を乞ふと同時に正なる批判と親切なる御教示あらば獨り筆者の幸福のみならず又國家農村の大問題として歡迎する容まざるものである

千代田と武田

東部電力平支店長として永年敏腕を見せ、地方人に親しみ深い武田一氏は辭職後三四年間浪人生活をしてゐたが此程千代田生命平支理店に活動することになつて東奔西走其成績は日々に加入者の增は過去の手腕を保險界にも又見せてゐる譯である。而して同代理平町二丁目草野商事株式會社は昨年は十五萬圓昨年は二十萬圓達し業績磐城地方の現在契約高百五十萬を突破し業界に於て第一位と稱されてゐる譯である上にの前途に依つて益々その優良を見せることであらう

路線權に關する一考察

【一】

小名濱、湯本間の線路を某債權者は之を差押へたとか平、四倉間の路線及其營業權を四万圓で賣買交渉中だとか、赤井の線路は既に第三者の所有に歸してゐるとか、兎に角路線は今や石城地方に於ける問題の一つに數へられてゐるから此處に路線なるものを討檢して見ることにしよう

法が法として成立するが爲には先づその基礎に於て社會的要求がなければならぬ、社會的要求にして存在するときは法的理想に從つて批判される。此の批判を通じて始めて法は法として存在する、詳言すれば現實社會に於て何等かの欲求が存在し、更に社會の進歩と共に新なる社會的要求は發生し、或は新なる要求に變化する。然しながら社會に存在し存在することあるべき要求のすべてが眞に社會的のものとは斷じて[illegible]ない。茲に於てか之等の要求は果してその社會的要求として妥當するものなりや否やの吟味を受けねばならぬ。こゝに社會的要求の法的理想による批判の問題が生ずる。即ちあらゆる社會的要求は法的理想による批判を受けその社會の法的理想に適する時その社會的要求は抽象せられて該社會の法となるのである。斯くの如く見るならば未だ法上明には認められざるものと雖も社會的要求として現に存する以上之を看過することは出來ない、茲に論ずる路線權も亦かゝる意味に於て問題となる。財產權と云へば殆んど物權及債權にのみ限られて居たのであるが、經濟社會の發達と法思想の變遷とは特許權、實用新案權、意匠權等の近代的財產權を生むに至つた。しかしながら之等の法上の權利のみが未だ社會的要求の全部ではない。明文なきに拘らず權利なる名稱の下に實質上讓渡の目的となつてゐる財產が少くない。例へば御用商人の得意先、緣日商人の場所代或はのれん權等の如き[illegible]も法の明文上特に保護[illegible]何等の規定も無くその[illegible]實や讓渡についても何等特別の規定が定められて居ない、それにも拘らず社會に於ては權利の名稱の下に一般に尊重して之を濫りに侵さず、從つて取引の目的とされることは注目すべき事實である。之等のものと頗る類似するものとして路線權に關する問題がある(註)即ち監督官廳の免許を受けて自動車營業を爲す場合該營業主體は自己の現營業路線又は營業豫定路線に關し何等かの權利を有するや否やの問題である。今斯るものに對し路線權なる名稱を付する。勿論營業の免許なる點に着眼するときは一般に呼ばれる如く免許權と呼び自動車交通事業法の施行せらるゝ地域に於ては特許企業と云ふを妥當とするであらうけれども、營業の免許そのものが路線と不可離の關係にある事を重視するとき路線權と呼ぶをより便宜とする

「註」路線とは自動車交通事業法上、運輸營業の爲自動車を運行することを得る抽象的の線を云ふ、云ひ換れば營業區域を線で表した場合の呼稱である。その路線は一般の道路に依ることを通例とするが自動車道に依ることゝあり一般通行の用に供する道路に依ることもある（自動車交通事業法第二條參照）

法の精神を默殺
搾取追求の農銀を審判する

最近本社に來訪して農銀の暴状を物語つた者がある即ち之を明瞭に示せば左の如きものであるが仔細姓名だけは發表を遠慮する

貸付年月日大正十一年九月四日
貸付元金　九百圓也
據置期間及利率
十一年十二月迄年九分三厘
年賦期間及利率
廿六年十二月迄年九分三厘
年賦金毎年六月二十日　五十六圓二十三錢
十二月二十日　五十六圓二十三錢

右に對する償還狀況
大正十一年十二月迄利子たけ支拂
大正十二年六月より
毎年六月十二月二回つゝ支拂
昭和四年十月十八日を最終として合計十三回分金七百三十圓九十九錢支拂濟

右の通りなるも昭和五年より農村不況のため全く支拂不能となり今日に至り今回一時償還請求となり
金一千百十九圓七十八錢（昭和九年九月十五日現在）

右の通り金高となりたる理由は日歩四錢の延滯利子に依るものなるも償還方法が初めも終りも同額の均等償還なる故元金の一部は既に償還濟となり居るものなるが此點を重視するやに感じられるも兎に角日歩四錢はあまりに高利なりと思惟するものである、そもく

農工債券發行

の特典を與へられたるものは勸業農銀を標榜する特殊銀行なるが故であつて延滯を理由に日歩四錢の高利をむさぼる事や償還期を延ばし或は償還額を小額にする事を承認して提供する場合に特に一定額の納入をせずとも許すべきではないか

今日の如き農村恐慌時に於て農銀の延納不履行に依る一時返還請求に及べば擔保たるべき先祖傳來の土地は全部取られても尚ほ借金が殘ると云ふ慘酷事を演出することになる斯の如く農村よりは

極力取立嚴重

なる農銀の最近に於ける貸付方針は農村方面に對しては可及的に制限し一方商業者方面に對しては比較的手立てに便宜を與へると共に貸付を増加せんとしてゐるのである株式會社農工銀行としては營利追求のためにベストを盡すのが重役として商法上の任務であることは勿論であるが若し現務取締役にして農業者に對する貸付が會社に不利益を與へるものと認識しつゝそれを敢行したとするならば、それは背信的行為である、併し乍らそれだからと言つて農銀法の精神を默殺するに及んでは邪道へ脱線したと攻擊されても致し方があるまい一體農銀の理事者にして農銀法當初の精神を守つてゐる者があらうか疑はざるを得ない、彼等はたゞ自己の

利益計上以外

に何ものもなく金利の餓鬼であり利子の奴隷である、商法上の立法精神と農工銀行法との立法精神は今日大きな喰ひ違ひがある尤も農銀法はその後農銀業務の制限が撤去したから今日の農銀は普通不動產擔保金融機關と何等異らないが併し農銀としての歷史的使命は永末も變つてゐないのだ、それ故にこそ『農銀』と呼ばれてゐるのである又普通銀行の有しない幾多の特典を與へられてゐるものである然るに農銀の理事者はこの特典だけは十分に享有し、一方

道徳的責務

たる農業金融は極力回避してゐるのである、彼等は常に株式會社として儲けるのに何處が[illegible]のかと言つてゐるが、それならば農銀に何故に幾多の特典が與へられてゐるのだと反問されるであらう今時の農民に金を貸したのでは商賣にならない——と云ふのが彼等の本音であらう過去に於て農民の味方として發足した農銀は今や農民の敵たる以外には何物でもないと評されても辯明の辭ありや、斯くの如く

農業金融を逸脱

して普通銀行と何等異らぬ營業をつゞけ一方取立てに對して猛氣の如く振る舞つゝ他面有利な恩典のみは百パーセント行使することを忘れぬ農銀は恰も不況に泣く農村を冷笑する如き金融ブルヂョアそのものである、地方産業の發達內容たる大理想の實現のために特別に附與されたる恩惠が今日農銀の優秀なる營業の根本原因であるに至つては農銀はこの

恩典を逆用

したのだ使命は果さず恩典だけは[illegible]に浴してゐる彼等の仕打は背徳的行為と批難されるのも當然ではあるまいか、結局農銀とは農民の名に於て金を儲け貸た農業金融は農銀法により嚴重なる鐵に縛され、年賦償還による高利を取り、延滯利息は日歩四錢といふ驚くべき搾取振りを示し、一方農工債券による低利資金を以て專ら商業金融に投資しつゝあるのだ。嗚呼農工銀行の正体よ？

實業風景

錦村大字中田に三萬坪の土地を擁して目下盛んに工事中の昭和人絹會社の爲めに植田地方は頗る景氣だとの噂が專らである、そこで人絹事業とはどんなものかと云ふに大正の初年米澤市に東工業株式會社か目下天下の大問題となつてゐる我國最大の規模を有する帝國人絹絲會社の前身であるのだ然して製造原價は一封度八十錢內外で大体次ぎの如き構成割合とのことである

原料代	一四%
藥品代	二三%
勞銀	二五%
燃料代	一一%
電力費	九%
用水費	四%
營業費荷造費	一五%
合計	一〇〇%

製法を略記すれば精製綿花又は木材パルプを種々の藥品で處理溶解し、その溶液をパイプにて紡絲機に導き壓力を加へて微細なる孔より空中又は凝固液中に噴出せしめ凝固させ其後は水洗ひ、脫色、晒白の工程を經、あとは綿糸紡績と殆ど同樣に揚枠、綛造り、選別などの順序に依つて市場に搬出されるのである、國內需要關係は正に驚くべき發達で累年增產を示し五千萬封度に激增してゐるこの人絹の名稱はレイヨンで通つてゐるがレイヨンとは佛語の光澤といふ意である、絹絲は本當の絹の絹と[illegible]光澤を放つことであらう、これも全く貴族院議員に成逆氏を送つた地方の利得とでも云ふべきである

帝國議會を傍聴せざる記

所用の爲めに水戸、東京と約半歲に渡つての活動の序に去月二十四日帝國議會を傍聽すべく日比谷に行つた、時は午前九時だつたが議會の情勢は之が國民に反映して傍聽人は押すなくの大混雜で傍聽席は早くも白組に依つて赤組などの入場すべき餘裕を見せべくもない、見渡す處群衆は凡そ二千にも達すだらう、是れでは地方選出の代議士を呼び出して傍聽席の無心をした處が初まらないと觀念して引揚げしてしまつた

×

政府は議會を通じて國民に語り國民は議會に依つて國民の意志を開陳するのである、此處に於て政黨の存在は不可避的のものであるのに議會は政黨罪惡を目掛けて道化芝居化した職場の觀あらしむることが政黨消滅論者の現れともなつて來たのが今日の信用なき政黨なのである

×

だが通般の臨時議會の爆彈動議のあの騒ぎから今を好む大衆は何とはなしに議會が明日にも解散があるのじやないかなどゝ變な興味を起して議會の情況を知りたくなつたものらしい、記者も又其一人で傍聽して見たい樣な氣を起したのである。閣黨政治を衝きファッシヨを攻擊し政界の現狀打破を叫び解散の斷然を力說するものは國民であらう

×

議會に於て本會議は勿論のこと豫算委員會にも分科委員會にも一言半句も言はず勿論存在さへも認められず、老朽議員たる政黨の一部の[illegible]でも協贊の實を擧げたかのやうにいやさ己一人でも仕事をしたかに所屬部國に歸つて話合ふ代議士が我磐城地方に無いことを切望する

×

立憲の大義に則する議會政治の運用と民意に立脚する政黨の任務など更にご存なく私慾を滿足させんが爲めに代議士となられたでもあるまいから折を見て近く地方選出代議士諸君の訪問記を書くことにして上京しても議會を傍聽せざるの記如件

磐銀配當

破綻磐城銀行の假決算決定は百四十萬、第二回の配當金は四分で約六萬圓程を本月四五日頃拂ひ戻すとのことで武田新田目兩支配人は非常な努力をなしつゝありと云ふ

◎募集
印刷業を以て身を立てんとする十五、六歳迄の少年を雇入れたし、萬事は親しく御相談の事
大和田印刷所

印刷屋としての私

◎製版の精緻、印刷の鮮麗色彩の優美、加ふるに高級の用紙によつて作製された印刷物は、云ふまでもなく印刷物としては優秀品と稱し得られるものである

◎處が現在の印刷物例へば宣傳印刷物に就いて之を述べるに、技術的工夫に申し分なく、優秀諸材料を使用し之を鑑賞的見地より見るに於ては、完全無缺の優秀印刷物にして而も宣傳印刷物の生命たる効果の有無といふ點から論ずると尚ほ當を得ない種類のものも多々ある事は事實である

◎又一方には優秀印刷物としては相當隔りある作品にして一見直に衆人の視線を惹きつけ、一寸鉄的効果を擧げ得るものも尠くない、之は印刷物としては眞の優良品ならざるも文字圖案の適切、その配置色彩の調和等の宜ろしきと相俟つて人に呼びかけるといふ所謂働的氣分を具備してゐるものといふべきで、その偉力に於ては前者のそれに優ること數段であるを思ふ

◎印刷需要家は、期待するに効果的の印刷物を期待する事は萬人同様である、然らば宣傳印刷物の如きにあつては印刷物として高級であり精巧であるといふのみを以て必ずしも滿足し得られないのである

◎從つて優秀印刷物は、技術の卓越、優良材料品の使用といふ事は絶對の條件ではあるが、鑑賞の眼識による優秀印刷物とは右の條件の外に更に人心を的確に魅了する處の働的生命が具有されねばならぬ、即ち生きた印刷物たる事を要するのである

◎こゝに印刷需要家側の研究工夫といふ事が非常に重要となつて來る、印刷所は元來需要家の意志に基き原稿に從つて工程を進める、その間印刷所側の技巧によつて製作品に優劣の生ずる事は勿論であるが、若し印刷物の性質に適せざる原稿に從つて之を作製せんか、如何に印刷所が製品の優良化に努力すると雖も、所謂は精巧品は得られても効果的のものは求め得られないといふ事になる

◎この見地から言つて、今後の需要家は、その利用する印刷物の性質に充分合致せる印刷物即ち鑑識の觀點による優良印刷物を作製すべく、多大の注意が肝要である

◎又印刷業者は、時代と環境の狀移を充分注目すると同時に一も二もなく需要家の意志に從ふといふ意味でなく、眞に優良印刷物を作製すべく大いに技術について工夫研究、指導的態度を以て進まねばならぬと思ふものであります

放蕩兒

パンカラ生

放蕩とはこれ如何と問はれなば凡て常識に外れたる人間の行爲を云ふと答ふるなるべし、然り放蕩は通俗的にドウラク、放蕩兒、遊野郎、等々多くは花柳の巷に出入し酒色の間に往來して尚且つ自分の本分を缺くも[illegible]には多少お互の間あれど世間一般の女には絶對に嫌はる、大禁物であるされど唯相手の女たけには好かる、奴に限つて放蕩兒が多い

世間一般の女達に嫌はる、のみならず父兄に嫌はれ、先輩に嫌はれ朋友に嫌はれ親類に嫌はれ最も妻に嫌はる、者である然るに父兄の眼をぬすんでは家産を傾け先輩の教を破り朋友の諫を用ひず妻を泣かし子を顧みずして遂には一家破産の悲境に至る古來より今日迄此放蕩兒に身を亡ぼさゞる者殆んと稀である

されど屏風は曲りて立ち蜂の巣は倒して其家を作る世には父兄の眼も偸まず家産も傾けず寧ろ家産を増して先輩に首を捻らせあれで濁れずして盛んになるかと知己朋友に舌を卷かせ妻子親族を路頭に迷はさずして酒色に出入する者もあるつまり毒藥も利用によつては生を救ひ病を治するの理か所謂放蕩三昧に入りしものか

固より君子は與せざるも事業發展のために利用するか交際場裡のために利用するか但は入るを計り出つるを制して其の間に浩然の氣を養ふかいづれにせよ獨立自營の門戸を張りて元氣と活氣の横溢せるものにあらざれば能はず只一時の勢ひに乘じ一時の運に委せて闇雲に飛びのる奴乃至はまた鄰家の[illegible]を羨じる奴に至りては問題いもなく似非放蕩兒である

品性の高尚、意志の堅固に趣味の幽玄進退の典雅いまだ曾て生來一度も花柳の巷に足を向けざる潔癖格なる宗教家以外苟も今日の紳士たるものにして幾人かある要は唯これに勝ると劣らざるとにあり又數學の多いと少きにあり藝伎と面白い話も出來ぬ奴がこの敵の多い社會に押出して滿足に口を開くべきや茶屋酒の味も知らざるものに世の中の味を知る筈もないとは放蕩兒の自家辯護ばかりとは聞き流すことも出來ぬ場合があるが今回は此邊で擱筆としよう

◎原稿募集

自由論壇　十五字詰八十行以内取材自由

文苑　主として郷土を對照とした作品を募る、行數無制限

隨筆　十五字詰五十行以内

恭賀新年

迂生の中風病も漸次良好に相向ひ申候に付自村に在ては實際的の自力更生と農村振興に微力を盡し其意見と理想とは『磐城の實業』に發表可致候

石城郡鹿島村　江尻中

「飛行機印」愛國乾麵
◆原料精撰◆　◆滋養豐富◆
磐城國平町七丁目
佐藤製粉製麵所　佐藤佐市郎　電話五〇六番
小麥粉　蕎麥粉　大豆粉

双葉郡長塚村大字長塚
土木建築請負業　田中組合名會社
代表社員　田中[illegible]太郎　電話[illegible]一番

內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科
高久病院
院長醫學士　高久忠
平町田町　電話一一四番

內科　小兒科　外科　內臟外科　花柳病科　肛門病科
市原醫院
平町田町　電話五一三番
—入院隨時—

◎胃腸科　內科　胃腸病科
◎性病科　花柳病科　皮膚科　性病科　肛門病科　泌尿器病科
胃腸科性病科 松村醫院
平町南町　電一〇七番

八島屋商店
漁業　鰹節　肥料製造販賣　廻船問屋　鮮餌鰮販賣
立花雄七
福島縣小名濱港　電話一〇二番　電略（ヤシマ）又ハ（ヘ）

セメント瓦製造機械製作販賣
日本型　洋型　最新型各種
御一報次第型錄呈上
萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉驛前　電話三八番

良品に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋　釜屋商店
磐城平町五丁目　電話九九番　振替東京一〇九五六

御用達
炭礦用諸材　鐵道省用材木
材木商　佐藤三平
本店　福島縣石城郡内鄕村　電話平四三〇
支店　福島縣双葉郡浪江町　電話浪江七三
出張所　福島縣西白河郡矢吹町　電話矢吹四一

新古機械　電機
常磐線平驛前通り
田邊商店　電話二九四番

土木建築請負業
石城郡植田驛前
成瀬組　成瀬巴三

鷄の分讓
一ヶ年產卵三百個を下らず其滋養價値は雞卵の二倍
肺病、肋膜、喘息、咸胃、心臟病に特効あり飼育容易にして一日一個料二厘を出でず。
若鷄雛鷄等何時にても取次販賣
石城郡鹿島村
申込所　江尻中

東京鐵道局公認
平驛構內タクシー
不二タクシー　電話三三番